

## 地域食堂「パプリカ」NHK Eテレで全国放映



バルーンアートが人気!

いらっしゃーい!

東部地域住民自治協議会 健康福祉部主催の地域食堂「パプリカ」の活動の様子が9月27日(月)午後7時25分から、『NHK Eテレ パプリカ「あしたにたねをまこう」!LIVE』のフィナーレの番組で全国放映されました。パプリカという楽曲から生まれた全国のさまざまな人たちのハッピーなエピソードの紹介があり、そのひとこまとして放映されました。

「パプリカ」は2020年とその先の未来に向かって頑張っているすべての人を応援するプロジェクトの楽曲、米津元帥さんが作詞・作曲・プロデュースを担当、歌唱は小・中学生の5人組み「Foorin」、日本中の子どもたちが口ずさむ社会現象となり、2019年末に第61回日本レコード大賞、2019年・20年に2年連続紅白歌合戦に出場しました。

全国放映されたメッセージの内容を紹介します。

- いらっしゃーい!三重県の「地域食堂パプリカ」です!
- 私たちは1年前から、月に1回、地域の公民館を借りて「食堂」をやっています。

- ひとりぼっちになりがちな、地域のお年寄りや子どもたちみんなでつながれる場所を作りたいからです。
- 「パプリカ」を聞いた時みたいに、子どもも大人も笑顔になれる場所にしたいと思って、「パプリカ」と名付けました。
- おいしいカレーライスだけでなく、スタッフの作るバルーンアートが大人気です。
- はじめは20人ぐらいだったお客様も、今では2倍以上に!毎回、満席になるようになりました。
- コロナで開催できない時もあるけれど、楽しみにしてくれるお客さんのために、私たちは負けません。
- 地域の未来を明るくできるように、私たちもこの「パプリカ」を育てていきます。

### せーの、パプリカ!

東部地域住民自治協議会の皆さん、今後も地域食堂「パプリカ」ご支援よろしくお願い致します。

(取材：縄手 稔)

# 避難所マニュアルについて ⑫

東部だより第35号から避難所マニュアルの重要なところを掲載しています。

第1回は「各自治会別災害時の避難場所」

第2回は「避難所開設・基本方針について」

第3回は「災害発生～避難所開設・運営・撤収の流れについて」

第4回は「災害発生～開設までの流れについて」

第5回は「災害発生～開設までの役割による人の流れについて」

第6回は「避難所開設～運営の情報伝達のしくみについて」

第7回からは「災害発生したらまず身の確保・避難～避難所運営体制づくり～避難所運営～避難所撤収・閉鎖」

「避難所運営体制づくり、各班の役割」

「避難所運営に当たって配慮すること」

今回は、「**避難所管理について**」を掲載します。

## 管 理

避難所において、誰もができるだけ利用しやすいように、次の管理に気を付けます。

### 衛生管理

- 手洗い場（洗面場）と調理場は分ける。
- 配食など食べ物に触れるときには、必ず手を洗い消毒をする。
- マスクを着用する。
- 残飯やゴミは分別して所定の場所に廃棄する。
- 汁物や残飯を捨てるバケツに必ず蓋をする。
- 残り物は必ず捨てるよう徹底する。（配給や配食は食べられる分だけもらうよう指導）
- 手洗い、うがいを徹底する。（トイレや洗面台等に貼り紙で周知）
- 手洗い用消毒液を子どもの手の届かない場所に設置する。
- 清拭・足浴で清潔にする。

### 食事管理

- 身体にやさしい食事（塩分控えめ、野菜多め）を提供する。
- 地域の協力で炊き出しができるようにする。（目標は48時間以内に開始）
- 時間を決めて食事をする。
- みんなで一緒に食べるようにする。

### 健康管理

- エコノミークラス症候群を防ぐためにも、1日5分でも体を動かす時間をつくる。  
また、避難所で1日1回、決まった時間にみんなで行うことは共有体験としても有効です。
- 個人の健康管理についてもルールを定めて、遵守をお願いします。（口腔衛生管理、喫煙、飲酒など）
- アルコール依存症の発症を防ぐため、避難所は原則として飲酒は禁止とする。

### その他の避難所生活のルール

- 起床、消灯などの生活時間を決める。
- 朝礼、健康体操の時間を決める。
- 掃除をする日や時間を決める。
- 掃除当番や配食当番等、避難者の積極的な参加をお願いする。
- 人数確認（点呼）の時間を決める。
- 避難所内は火気厳禁とする。
- 貴重品の管理については、自己責任で行うよう周知徹底する。
- その他、必要に応じて話し合いでルールを決める。

避難所生活において避難者の方に守ってほしいルールについては、必要事項を話し合い決定します。必要事項を記入し、情報掲示板に掲示、放送などで周知します。

## 避難所生活のルール

### 生活時間などについて

- 起床は6時、消灯は9時
- 朝の食料の配給は7時から
- 夜8時に点呼

### 衛生管理について

- 手洗い、うがいを徹底しましょう。
- 残飯やゴミは分別して所定の場所に廃棄して下さい。
- 配給や配食は食べられる分だけもらうようにしましょう。
- 残り物は捨てましょう。

### 避難所の施設について

- 「立入禁止」場所には入らない。
- トイレは決められた場所を利用して下さい。
- 靴はポリ袋に入れて運びましょう。

### 運営について

- 掃除当番
- 自主的に避難所運営に積極的に参加しましょう。

\*次回は、避難所マニュアル最終回、福祉避難所・福祉スペース・安定期以降の取り組みについて掲載します。

## 地域食堂 **パプリカ** 再開

新型コロナ感染拡大のため、三重県下8月から蔓延防止等重点措置・緊急事態宣言が発令され、地域食堂が8月～9月の間中止となっておりましたが10月より解除となり、2ヶ月ぶりに10月10日(日) 10時から開催されました。参加者は大人、子どもあわせて47名でした。

#### 開催日

毎週第2日曜日  
午前10時から

#### 料金

子ども：100円  
おとな：200円



食事風景



パプリカのパルーンアート

### 響くひろがる 支援の輪

#### 〈令和3年度支援団体及び個人様〉

- ① JAいがふるさと様
- ② (株)サンショク様
- ③ (株)マルタフーズ様
- ④ 伊賀市社会福祉協議会様
- ⑤ 伊賀市上野車坂町前様 (伊賀米提供)
- ⑥ 伊賀市朝屋西山美智子様 (特別栽培米提供)
- ⑦ (株)わたせい商店様

ご協力をいただき誠に有難うございました。



# 教育文化スポーツ部会「教育講演会」開催

7月31日(土)13時30分から東部地区市民センター3階において、伊賀市教育委員会 教育長 谷口修一様を講師にお招きし、ご講演をいただきました。

大きく2つの課題、①コロナ禍における伊賀市の学校教育の現状について②伊賀市の学校教育の現状について、お話ししていただきました。

コロナ禍における学校での感染対策、学校教育の方向性について、パソコンをもとに詳しく説明していただきました。GIGAスクール構想(一人一台タブレットでの学習)を実施されており、教育現場の厳しさ、難しさを改めて認識させていただきました。

伊賀市の教育の目的として、「生きる力学びのその先へ」。

学校で学んだことが子ども達の「生きる力」となって、明日にそしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして明るい未来を共に創っていききたい。という願いをこめた日々の取り組みを詳しく伝えていただきました。

コロナ禍で、さまざまな機会が失われているので、子どもも大人にもイベント、行事、学びの場が再開できることを願いながら聴かせていただきました。



谷口修一 伊賀市教育委員会 教育長

# 「地域食堂研修会」開催

令和3年7月15日(木)ゆめぼりすセンター2階大会議室で、伊賀市社会福祉協議会主催で地域食堂研修会が開催されました。すでに地域食堂を立ち上げている人たち、これから地域食堂をやってみたい人たちが約70名参加されました。

研修の内容は、地域食堂導入説明、すでに地域食堂を立ち上げている地域の事例紹介、「コロナ禍での子ども食堂と食糧支援～安心を届けるために～」NPO法人 太陽の家 対馬あさみさんの講演、情報交換がありました。

地域の事例紹介では、東部地域住民自治協議会、南徹雄会長から「コロナ禍で中止期間もありましたが、食の提供や学習、世代間交流を進め、今後福祉施設にも声かけするなどつながりの輪をひろめたいです。」と説明がありました。

地域食堂の目的は、「食」を通じた集いの場づくりを進め、住民同士が交流を深める機会をつくることです。



事例紹介の  
南徹雄会長



講演の  
対馬あさみさん

今年も残すところ、後1ヶ月となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、開催が心配された東京オリンピック・パラリンピックが無事開催され、過去最高の成績で多くの感動をいただきました。

三重県で開催予定だった「とこわか国体」は残念ながら中止となってしまいました。

ワクチンの接種率も上がり、少しずつ日常生活を取り戻しつつあり、感染対策を守り活気ある社会に戻れることを祈っています。

(中 育子)

編集  
後記